

教育課程

1 教育課程編成の基本的な考え

本校の教育目標を具現化し、目指す子供像に児童生徒を近づけていくためには、実態に即した指導のできる教育課程が必要になる。そこで、本校の児童生徒の実態をみると、病気や障害の状態や発達段階が多様であり、学習の到達度も個人差が大きいといえる。

学習指導要領には、教育課程の編成に際して重複障害者等に関する取り扱いが示されており、児童生徒の実態に応じ、各学校で工夫した特色ある教育課程を編成する必要性が述べられている。

このようなことから、本校では小学校、中学校に準じた教育課程並びに重複障害者等に関する取り扱いに基づき児童生徒の多様な実態に対応できるように、以下の四つの教育課程を編成するものとする。

1) 小・中学校に準ずる教育課程 (Ⅰ類型の教育課程)

肢体不自由または病弱障害のある児童生徒が障害を克服し、自立していくうえで大切なことは、自己の障害を正しく認識し克服していく力と学力の充実である。そのために、小・中学校学習指導要領に準ずる指導に自立活動を加えた教育課程を編成する。具体的には、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動並びに自立活動で教育課程を編成する。

2) 下学年適用の教育課程 (Ⅱ類型の教育課程)

学習に遅れがあり、当該学年の教科書を使った学習が難しい児童生徒には、当該学年の前各学年の教科書を使用して学習する教育課程を適用する。具体的には、小・中学校学習指導要領に準ずる当該学年の前各学年の各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動並びに自立活動で教育課程を編成する。

3) 知的障害特別支援学校の教育課程 (Ⅲ類型の教育課程)

発達に遅れがあり、系統的段階的な教科の学習よりも、実生活に必要な課題を生活に即して身に付けるほうが、将来の自立に役立つ児童生徒には、知的障害特別支援学校の学習指導要領を適用する。具体的には、教科別の指導のほかに、領域・教科を合わせた指導、特別活動、総合的な学習の時間（中学部）並びに自立活動で教育課程を編成する。

4) 自立活動を主とした教育課程 (Ⅳ類型の教育課程)

発達に遅れがあり、心身の調和的発達の基盤を培うことが必要な児童生徒には、自立活動を主とした教育課程を適用する。具体的には、特別活動並びに自立活動、日常生活の指導で教育課程を編成する。

2 教育課程の概要

1) 教科の指導

(1) I 類型の教育課程

- ・指導教科は、国語、社会、算数又は数学、理科、生活（小学部低学年）、音楽、図画工作又は美術、家庭又は技術・家庭、体育又は保健体育、外国語活動又は外国語とする。
- ・基礎・基本の確実な定着を目指し、少人数の利点を十分に生かして、一斉指導の中に個に配慮した指導を行うものとする。

(2) II 類型の教育課程

- ・指導教科は、国語、社会、算数又は数学、理科、生活（小学部低学年）、音楽、図画工作又は美術、家庭又は技術・家庭、体育又は保健体育、外国語活動又は外国語とする。
- ・学習の進度に応じて個別に指導することにより、基礎・基本を確実に身に付けさせる指導を行うものとする。

(3) III 類型の教育課程

- ・教科別の指導は、国語、算数又は数学、音楽、体育を中心とする。個々の児童生徒の実態に応じて社会、理科、外国語等も行う。
- ・基礎的・基本的な知識や技能を身に付けさせるために、個々の児童生徒の実態に応じて、個別指導、一斉指導の指導体制を工夫する。生活に即した内容を、系統的・発展的に取り上げる。

2) 総合的な学習の時間

I 類型と II 類型及び中学部の III 類型では、総合的な学習の時間を次のようなねらいに基づいて実施する。

- (1) 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。
- (2) 学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

これらのねらいを具現化するために、一人一人の学習経験や生活経験、学習の到達度を把握し、一人一人の目的を明確にして、学習に取り組むことができるようにするとともに、必要に応じて学習バスを利用した校外学習も取り入れて、探究活動ができるようにするものとする。

また、本校は、単一障害児と重複障害児が在籍し、全員が入院して治療とリハビリテーションを受けている。この入院に伴う不利を克服し、利点を生かす総合的な学習の時間を目指すものとする。

3) 外国語活動

- (1) 小学部 I，II 類型の 3，4，5，6 学年において、次のようなねらいに基づいて実施する。

- ①外国語を通じ、言語や文化について体験的に理解を深める。
- ②外国語を通じ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。
- ③外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。

- (2) 小学部 III 類型の 3，4，5，6 学年においても、実態に応じて一緒に学習する。

4) 自立活動

I～IV類型の教育課程において、次のようなねらいと内容で実施する。

(1) ねらい

個々の児童生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。

(2) 内 容

健康の保持、心理的な安定、人間関係の形成、環境の把握、身体の動き、コミュニケーションに関すること

5) 教科等を合わせた指導

Ⅲ類型、Ⅳ類型の教育課程で行う領域・教科を合わせた指導の具体的な指導形態とそのねらいは次のとおりである。

(1) 日常生活の指導

児童生徒の日常生活が充実し、高まるように、日常生活の諸活動を生活の流れに沿って、反復的、継続的に指導するものである。生活科の内容だけではなく、いろいろな領域や教科にかかわる広範で多様な内容を扱うことによって、将来の充実した生活が過ごせるようにするものとする。

(2) 生活単元学習

児童生徒一人一人が生活していく上での様々な課題を児童生徒自身が把握し、自らの力で課題解決していく力を育てる学習である。本校では、児童生徒が生活上の課題を実際的、総合的に解決する学習を設定するものとする。

総合的な学習の時間との違いは、将来の社会生活に必要な知識・技能や生活上の望ましい習慣、態度を身に付けるところにある。

(3) 遊びの指導

遊びを学習活動の中心に据え、身体活動を活発にし、他者との関わりを促し、意欲的な態度を育みながら心身の発達を促していくものである。各教科にかかわる広範囲の内容を扱い、さまざまな遊びの経験を積み重ねながら遊びの楽しさを味わえるようにするものとする。

(4) 作業学習

作業活動を学習活動の中心に据え総合的に学習するものであり、生徒の働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立を目指し、生活する力を高めることを意図するものである。指導に当たっては、生徒の障害の状態に応じて、作業工程を工夫したり、補助具を工夫したりして意欲的に取り組めるようにするものとする。

3 本年度の年間総授業時数

【 肢体不自由学級（A組，B組） 】

月	授業日数	小学部						中学部	
		1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	1, 2学年	3学年
4月	1 5 (新 1 4)	60	67	74	76	76	76	81／87	87
5月	1 9	84	88	96	99	99	101	114	114
6月	2 0	86	90	94	98	98	98	112	112
7月	1 4	62	62	70	70	70	70	79	79
8月	5	22	23	25	26	26	26	30	30
9月	1 9	85	88	96	98	99	98	115	115
10月	2 1	96	100	107	110	111	110	124	124
11月	2 0	85	88	96	98	99	98	114	114
12月	1 6	70	72	80	81	81	81	92	92
1月	1 7	74	78	84	87	88	87	102	102
2月	1 8	80	82	90	92	91	92	105	105
3月	1 6 (卒 1 0)	69	70	76	79	76	50	91	45
特設		73	73	73	73	71	69	2	0
総授業 時 数	200日 (新生:199) (卒生:194)	946 時間	983 時間	1060 時間	1088 時間	1089 時間	1056 時間	1年1159 2年1167 時間	1119 時間

【 病弱学級（C組，D組） 】

月	授業日数	小学部						中学部	
		1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	1, 2学年	3学年
4月	1 5 (新 1 4)	66	76	78	81	81	81	80／86	86
5月	1 9	94	98	101	105	105	105	113	113
6月	2 0	92	95	98	101	101	101	109	109
7月	1 4	66	69	71	74	74	74	78	78
8月	5	25	26	27	28	28	28	30	30
9月	1 9	95	97	102	106	106	106	114	114
10月	2 1	104	107	110	115	115	115	123	123
11月	2 0	100	104	108	112	112	112	120	120
12月	1 6	76	79	82	85	85	85	90	90
1月	1 7	85	88	90	94	94	94	102	102
2月	1 8	88	91	94	98	98	98	105	105
3月	1 6 (卒 1 0)	73	76	80	83	83	52	87	42
総授業 時 数	200日 (新生:199) (卒生:194)	964 時間	1006 時間	1041 時間	1082 時間	1082 時間	1051 時間	1年1149 2年1157 時間	1128 時間